NO.

021

教育 オンライン学習

A Classroom Without Walls

壁のない教室——オンライン学習

英文の音声

レベル ★☆☆ 標準 | 290語 | 熟語12個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 Not long ago, learning usually meant sitting in a classroom at a fixed time. Today, students can watch lectures, ❶**hand in** assignments, and take tests online, wherever they are. For many, this freedom has changed what it means to go to school.

2 Online learning has clear advantages. Students who ❷**are busy with** club activities or part-time jobs can study at their own pace. Someone who misses a week because of illness can ❸**catch up with** the rest of the class by watching recorded lessons. Adults can ❹**take up** new subjects, such as programming or a foreign language, without quitting their jobs.

3 ❺**To tell the truth**, however, studying alone in front of a screen is harder than it looks. Without a teacher nearby, it is easy to lose focus. Many students say that after a few weeks the excitement fades, and they find it hard to ❻**get back** to work after a break. Some courses try to solve this by starting each lesson with a short quiz to help learners ❼**warm up**, or by asking them to ❽**take out** a notebook and write a summary by hand.

4 Teachers, too, must adapt. Good online courses keep their content ❾**relevant to** students' lives and gradually ❿**accustom learners to** managing their own time. In this way, online learning can ⓫**prepare young people for** a future in which they will need to keep learning throughout their careers.

5 Still, most students feel that something is missing when they never meet their classmates. Many who studied online during the pandemic said they ⓬**couldn't wait to** return to school and see their friends again. The best approach may be a mix of both: online tools for flexibility, and real classrooms for the human connections that screens cannot replace.

語注 **lecture** 講義 **assignment** 課題・宿題 **at one's own pace** 自分のペースで **adapt** 適応する **flexibility** 柔軟さ

この英文の熟語 IDIOMS 12個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 hand in ~ ～を提出する □□□

＝ turn in / submit。手で（hand）中に（in）渡す。hand A in の語順も可。hand out（配る）、hand down（伝える）とまとめて覚える。 例 *Hand in your homework at the end of the class.* 授業の終わりに宿題を提出しなさい。

2 be busy with ~ ～で忙しい □□□

with の後ろは名詞。動詞なら be busy ～ing（～するのに忙しい）で、to do は使わない。前置詞を入れない形（busy doing）が狙われる。 例 *I'm busy with my homework right now.* 今は宿題で忙しい。

3 catch up with ~ ～に追いつく □□□

遅れている側が、先にいる人・水準に追いつく。＝ overtake は「追い越す」なので違う。keep up with ~（～に遅れずについていく）と区別。 例 *Go ahead. I'll catch up with you later.* 先に行って。後で追いつくから。

4 take up ~ （趣味など）を始める □□□

趣味・仕事・勉強を新しく始める。他に「（時間・場所を）とる」（take up a lot of space）、「（問題を）取り上げる」の意味もある多義語。 例 *My father took up golf after he retired.* 父は退職後にゴルフを始めた。

5 to tell the truth 実を言うと □□□

独立不定詞の一つ。言いにくいことを打ち明ける前置き。to be honest、strange to say、needless to say などの独立不定詞とまとめて覚える。 例 *To tell the truth, I didn't read the book.* 実を言うと、その本は読んでいないんだ。

6 get back 戻る □□□

＝ return / come back。get back to ~ で「～に戻る」（get back to work＝仕事に戻る）。他動詞で get back ~ は「～を取り戻す」。 例 *What time did you get back last night?* 昨夜は何時に戻ったの？

7 warm up (~) 準備運動をする □□□

運動の前に体を温めること。比喩的に「（本番の前に）調子を整える」の意味にも使う。名詞 warm-up（準備運動）。他動詞で「～を温める」も。 例 *Always warm up before you run.* 走る前には必ず準備運動をしなさい。

8 take out ~ ～を取り出す □□□

かばん・ポケットなどから「取り出す」のほか、「（人を）連れ出す」「（ごみを）出す」の意味もある。take A out of B（B から A を取り出す）。 例 *She took out her phone and checked the time.* 彼女は携帯電話を取り出して時間を確かめた。

9 be relevant to ~ ～に関係がある □□□

＝ be related to ~ / have something to do with ~。「（今の話題・状況に）関連がある・意味がある」。反対は be irrelevant to ~。本文は keep O relevant to ~ の形。 例 *Your question is not relevant to today's topic.* あなたの質問は今日の話題と関係がない。

10 accustom A to B A を B に慣れさせる □□□

to は前置詞なので B は名詞か動名詞（accustom learners to managing）。受け身 be accustomed to ~（～に慣れている）の元の形。accustom oneself to ~ は「～に慣れる」。 例 *It took time to accustom the dog to its new home.* 犬を新しい家に慣れさせるのには時間がかかった。

11 prepare A for B A に B の準備をさせる □□□

A に人、B に出来事・未来・試験などが来る。prepare for B（B の準備をする）、prepare A（A を用意する）と形を区別。 例 *The training prepared us for real emergencies.* その訓練で私たちは実際の緊急事態に備えることができた。

12 can't wait to do ～するのが待ちきれない □□□

早く～したくてたまらない。＝ be eager to do / look forward to ～ing。can't wait for ~（～が待ちきれない）の形もある。 例 *I can't wait to see you again.* また会えるのが待ちきれない。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 第 2 段落で述べられているオンライン学習の利点として正しくないものはどれか。

① 部活動やアルバイトで忙しい生徒も自分のペースで勉強できる
② 病気で休んだ人が録画された授業でクラスに追いつける
③ 大人が仕事を辞めずに新しい科目を始められる
④ 先生に会わなくても集中が途切れることがない

問2 第 3 段落によると、講座が集中の問題を解決するために行っている工夫はどれか。

① 授業を短い小テストで始めたり、手書きで要約を書かせたりする
② 授業の時間をできるだけ長くする
③ 課題を出さないようにする
④ 生徒の画面を常に録画する

問3 最終段落で筆者が提案していることはどれか。

① オンライン学習をやめて、すべて教室での授業に戻すべきだ
② 教室での授業をやめて、すべてオンラインにすべきだ
③ 柔軟さのためのオンラインと、人とのつながりのための教室を組み合わせるのがよい
④ クラスメートと会う必要はない

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1 〜を提出する
2 〜で忙しい
3 〜に追いつく
4 （趣味など）を始める
5 実を言うと
6 戻る
7 準備運動をする
8 〜を取り出す
9 〜に関係がある
10 A を B に慣れさせる
11 A に B の準備をさせる
12 〜するのが待ちきれない

背景知識 オンライン学習は、インターネットを通じて授業を受けたり課題を出したりする学び方。コロナ禍の 2020 年には多くの学校が一斉にオンライン授業を行い、利点と課題が広く知られた。録画で繰り返し学べる、時間や場所を選ばないといった利点がある一方、集中が続かない、友達や先生とのつながりが弱くなる、通信環境の差で学びの格差が広がるといった課題も指摘される。入試では「対面とオンラインの組み合わせ」を結論とする文章が多い。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 少し前まで、学ぶことといえば普通は、決まった時間に教室に座ることだった。今日、生徒はどこにいても、オンラインで講義を見たり、課題を**提出し**たり、試験を受けたりできる。多くの人にとって、この自由は学校に行くことの意味を変えた。

2 オンライン学習には明らかな利点がある。部活動やアルバイト**で忙しい**生徒も、自分のペースで勉強できる。病気で1週間休んだ人も、録画された授業を見れば、クラスのみんなに**追いつける**。大人は仕事を辞めずに、プログラミングや外国語のような新しい科目を**始める**ことができる。

3 しかし**実を言うと**、画面の前で一人で勉強するのは、見た目より難しい。近くに先生がいないと、集中が途切れやすい。数週間たつと熱意が薄れ、休んだ後で勉強に**戻る**のが難しくなる、と多くの生徒が言う。これを解決しようと、毎回の授業を短い小テストで始めて学ぶ人の**準備運動**を手助けしたり、ノートを**取り出させて**手書きで要約を書かせたりする講座もある。

4 先生もまた、適応しなければならない。よいオンライン講座は、内容を生徒の生活と**関係のある**ものに保ち、学ぶ人が自分で時間を管理すること**に**少しずつ**慣れさせる**。このようにして、オンライン学習は、職業人生を通じて学び続ける必要がある未来に向けて、若者**に準備をさせる**ことができる。

5 それでも、クラスメートに一度も会わないと何かが欠けている、とほとんどの生徒は感じている。コロナ禍の間にオンラインで学んだ多くの生徒は、学校に戻ってまた友達に会うのが**待ちきれなかった**と言った。最善の方法は、両方を組み合わせることかもしれない。柔軟さのためにはオンラインの道具を、画面では代わりにならない人と人とのつながりのためには本物の教室を、というように。

要旨 オンライン学習は時間や場所を選ばず学べる利点がある一方、一人で集中し続けるのは難しい。先生の工夫も必要で、柔軟さはオンラインで、人とのつながりは本物の教室で、という組み合わせが最善かもしれない。

解答・解説 ANSWERS

問1 4 **問2 1** **問3 3**

問1 正解 4 正しくないものを選ぶ問題。4 は第 3 段落 Without a teacher nearby, it is easy to lose focus（近くに先生がいないと集中が途切れやすい）と逆の内容なので正解。1 は Students who are busy with club activities or part-time jobs can study at their own pace、2 は can catch up with the rest of the class by watching recorded lessons、3 は Adults can take up new subjects ... without quitting their jobs と一致する。

問2 正解 1 根拠は第 3 段落 by starting each lesson with a short quiz to help learners warm up, or by asking them to take out a notebook and write a summary by hand。1 が正解。2 の授業を長くすること、3 の課題をなくすこと、4 の画面の録画は、どれも本文に書かれていない。by ～ing が「方法」を表すので、by の後ろに解決策が並んでいると気づけば根拠を見つけやすい。

問3 正解 3 根拠は第 5 段落 The best approach may be a mix of both: online tools for flexibility, and real classrooms for the human connections that screens cannot replace。両方の組み合わせを提案しているので 3 が正解。1・2 はどちらか一方だけにする案で、a mix of both に反する。4 は most students feel that something is missing when they never meet their classmates と逆。